

JLEM News Letter Vol.59



第65回日本語教育方法研究会開催

発表52件 参加者216名

第66回は静岡大学にて

2025年9月20日(土), 第65回日本語教育方法研究会がオンラインで開催されました。参加者は216名で, 活発な意見交換が行われました。また, その後の交流会でも有意義な意見が交わされました。

それらに先立ち, 9月19日(金)には, 運営委員会が開かれました。議事については, このニュースレターの記事をご覧ください。

次の第66回研究会は2025年3月14日(土)に静岡大学静岡キャンパスにて開催いたします。皆様, 奮ってご参加ください。

開催を終えて

内藤 真理子
(事務局)

オンラインでの開催は, 今回で8回目となりました。今回も発表52件, 参加者216名と, 多くの方にご参加いただきました。心より感謝申し上げます。研究会終了後のアンケートには, 参加者の約6割の方が答えてくださいました。参加者の内訳をみると, 日本国外からの参加者が17名と1割以上を占め, アジア州のほか, ヨーロッパ, 北米, オセアニア州からのご参加もありました。早朝, もしくは夜遅く

だった方もいらっしゃると思いますが, たくさんの地域からご参加くださったことを感謝するとともに, そのような中でも参加しようと思ってくださる場をご提供できること, うれしく思います。

アンケートを見ると, 発表の進め方を発表者自身が理解されていなかつたというご指摘がありました。発表される方は, 事前に「発表申込のご案内」や「研究会の参加案内(発表者編)」で発表方法を必ずご確認ください。そして, JLEMに初めて参加されるという方には, 他の方の発表を見る回を設けてから発表に臨むことをお勧めいたします。JLEMでの発表の傾向や参加者の特徴もわかるので, 発表の準備にも生かせるのではと思います。

また, 同じくアンケートで, 研究会当日だけサポートをする人を会員から募ったらいのではというご提案をいただきました。研究会当日に参加できる運営委員の数が少ないことがありますので, このようなご提案, 大変うれしく思います。実は, 前回の桜美林大学での開催時にも, 会場設営を手伝ってくださった会員の方がいらっしゃいました。今後は積極的にお声がけさせていただこうと思いますので,

会場設営や交流会のファシリテーターなど, お力添えいただければ幸いに存じます。

次回開催にあたって

佐々木 良造
(静岡大学)

第66回JLEMは3月14日(土)に静岡大学静岡キャンパスで開催されます。近年の東海地方では2017年春の名古屋大学, 2023年春の愛知大学に続く開催となります。現在, 本学は静岡キャンパス・浜松キャンパス合わせて約420名の留学生が在籍しています。2024年にアジアブリッジプログラム(ABP, 10月入学・9月卒業/修了の学士・修士プログラム)が10周年を迎え, 2024年度までに430名以上の学生が卒業・修了しています。アジアブリッジプログラムのほかにも, 文部科学省認定の留学生就職促進教育プログラム「アジアブリッジプログラム日本就職コース」が実施されています。交換留学生や短期受入プログラム, 地元の高校生と留学生の交流等も活発に行われています。コロナ禍前に本学でのJLEMの開催が計画されていましたが, 残念ながら実現できませんでした。本学での開催は今回が初めてとなります。参加者のみなさまの交流や日々の実践の共有の場となるよう準備を進めております。静岡大学静岡キャンパスへはJR静岡駅北口

からバスで約 25 分かかります。3月は桜えび・生しらす、苺・はるかみかんなど旬のものが楽しめます。静岡でお目にかかるることを楽しみにしております。

第 19 回 JLEM 奨励賞

JLEM の「優秀賞」は、①課題の設定やその検証の視点の独自性、②教育実践・研究成果の発展性、③ポスターの見やすさという 3 点を基準に審査され、優れた内容の発表を行った会員に授与されるものです。ただし、顕彰に値する発表があったと判断された際には、「奨励賞」「ポスター賞」を設け、授与する場合もあります。第 65 回研究会の発表について、会長、及び 3 名の運営委員で構成される JLEM 賞選考委員会で審査を行ったところ、以下のようになりました。

奨励賞:徳間晴美(明治学院大学)

「敬語フレーズを持ち寄る
帯活動の実践」

優秀賞・ポスター賞:該当者なし

奨励賞の徳間氏の発表は、大学での毎回の授業実施の際、日常生活の中で見聞きした敬語のフレーズを学習者に持ち寄らせ、分析をさせた教育実践に関するものでした。学習者が感じた課題に即して考えられた内容であり、様々な学習者のレベル、様々な教育機関で即座に取り入れられるもので、JLEM にふさわしい、教育現場に役立つ実践的な研究でした。

選考委員会の席上では、学習者による分析プロセスの検証を進めることで、さらに今後の発展が見込める研究であると判断され、本発表には「奨励賞」を授与することとなりまし

た。受賞のポスターは JLEM のウェブサイトに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(平田秀)

総会・運営委員会報告

研究会当日の 9 月 20 日(土) 12:50~13:05、2025 年度日本語教育方法研究会総会が開催され、全ての報告・議案について承認された。
①会員数:2025 年 9 月 16 日現在、727 名(国内 701 名、海外 26 名)

②運営委員の就任:佐藤淳子さん(北海道大学:編集、2025 年 4 月より)、古内綾子さん(明治大学:編集、2025 年 10 月より)。
異動:平山允子さん(日本学生支援機構:企画・広報→編集)。退任:高村めぐみさん(愛知大学)、長谷川守寿さん(東京都立大学)。

③現会長・事務局は 2025 年度末で再任後 2 年の任期満了となる。会則第 12 条に基づき、運営委員会で新会長選出および事務局委員への会長委嘱が行われた。

新会長:工藤嘉名子さん(東京外国语大学)

新事務局:小森万里さん(大阪大学)・鈴木綾乃さん(横浜市立大学)。

承認され、2026 年 4 月より新体制となる。

④2024 年度の決算および 2025 年度の予算案について会計担当委員より説明。原案を承認。

⑤今後の開催予定:第 66 回研究会(2026 年 3 月 14 日)は静岡大学静岡キャンパス。第 67 回研究

会(2026 年 9 月)はオンライン。第 68 回研究会(2027 年 3 月)は立命館大学大阪いばらきキャンパスを予定(開催校のお引き受け & 運営委員へのご参加、お待ちしています)。

なお、研究会に先立ち 9 月 19 日(金)に Zoom を用いて運営委員会が開かれ、上記に加えさまざまな報告・審議が行われた(出席 19 名、委任状提出者 12 名)。会員に関する情報として以下 2 点を共有する。
①研究会誌査読付の誤認識について:海外会員で当研究会誌掲載の発表課題を「査読付」としている例があるとわかった。研究会ホームページの「研究会誌」に加筆し、査読をしていない旨明記することを会長、事務局で検討する。

②海外向け会誌の追加発送について:海外向け送料が上がっており、会費 1 名分を上回ることもある。改善案として「送付希望の海外会員に送料の支払いを別途求める」「海外会員にのみ PDF 版を配布する」案が上がり、関係委員で検討したが、会計作業の煩雑化、情報漏洩等の懸念があり好ましくないため、当面現状維持となった。

(松崎寛)

事務局よりご連絡

●発表者の会費支払期限

第 66 回研究会で発表するためには、発表者(複数の場合は全員)は応募時点で 2025 年度の会費(2025 年 4 月からの新年度分)を支払っていなければなりません。期限は 2026 年 1 月 5 日(月)です。その時点で入金が確認できない方に

については、発表申し込みを受け付けることはできませんので、早めに入金を済ませてください。昨年度の会費が未納の場合、今年度に会費を支払っても、昨年度分に充てられるため、今年度分は未納のままとなります。発表申し込みを行う前に、必ず発表者全員が各自の会員ページで今年度の会費支払いが済んでいることをご確認ください。

●発表をお断りする場合

本研究会では、以下の場合発表をお断りする場合もありますので、ご承知おきください。

- ①本研究会、または他の学会・研究会で既に発表された内容のもの
- ②研究倫理上問題があると考えられるもの
- ③特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
- ④特定の教材、商品、サービス等を宣伝するもの
- ⑤日本語教育との関連が見出せないもの
- ⑥捏造、改ざん、盗用、著作権侵害のおそれがあるもの

●住所変更等

JLEM では、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を送付していますが、返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。なお、転送サービスには対応していません。また、登録の際には、以下の点にご注意ください。

- ・集合住宅にお住まいの場合は建物名まで入力してください。
- ・郵便受けの表札名とご登録の苗字が異なる場合は、住所末尾に「○○方」と追記してください。

(内藤真理子)

J-STAGEについて

JLEM では、研究会誌を J-STAGE で公開していますが、刊行後 1 年未満の会誌については書誌情報しか見られないように設定しています。刊行後 1 年未満の会誌を読みたい場合は、冊子をご覧ください。（※JLEM では J-STAGE の購読者番号・パスワードの配布はしていません）。また、発表に応募される方は、以下の 3 点についてご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

①JLEM での発表応募は、「J-STAGE での公開の承認」を前提とすること

②編集担当が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと

③研究会当日に発表を行わなかったと判断された場合、その原稿を J-STAGE で公開しないこと

(寺嶋弘道)

会費納入について

会計年度は、4 月から 3 月です。研究会のスムーズな運営のためにも、6 月 30 日までにお支払いくださいますようお願いいたします。

また、各研究会の際に会費納入が終了していない場合は、研究会までに会誌が送付されず、後日送付されることになります。また、それにより、運営委員の手間が増えることになります。それはともかく、研究会の際、会誌が手元にないと不便だと思いますので、余裕をもってお支払いをお願いいたします。発表申込の締切日を目安とお考えください。

退会される場合は、3 月末までに

退会処理をお願いいたします。4 月になりますと、新年度の会費納入義務が生じますので、お気を付けください。

●振込先

①郵便局の電信払込の場合

記号: 10140

番号: 69076511

加入者名: 日本語教育方法研究会

振込者名: (氏名だけで可)

②銀行からの振込の場合

銀行名: ゆうちょ銀行

金融機関コード: 9900

店番: 018

預金種目: 普通

店名: ○一八店 (ゼロイチハチ店)

口座番号: 6907651

加入者名: ニホンゴキヨウイクホウホウケンキュウカイ

振込者名: (氏名だけで可)

●所属先名で振り込む場合

所属先の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。所属先が前だと会員名がカットされることがあります。

●会員番号で振り込む場合

会員番号の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。会員番号が前だと会員名がカットされることがあります。

●ご登録の会員名と異なる名義で振り込む場合

必ず振り込みの度に、ホームページの「お問い合わせ」より、その旨ご連絡ください。

●振り込む方の名義が外国語で表記される場合

ご登録の会員名が確認できないことがよくあります。特に、中国の方はピンインで表記されることが多いため、ご登録の会員名 (JLEM のシステムでは漢字とカタカナのみ) を検索して

確認するのに時間がかかっています。
お手数ですが、振り込んだというご連絡をいただけますと助かります。

(内藤真理子・高橋亜紀子)

運営委員会メンバー

会長:松崎寛(日本大学)
事務局:内藤真理子(電気通信大学), 畠山理恵(文化学園大学)
会計:伊藤夏実(東京農工大学), 島崎薰(東北大学), 高橋亜紀子(宮城教育大学), 平田秀(武蔵野大学)
編集(ニュースレター担当): 世良時子(上智大学)
編集(会誌担当):内山喜代成(桜美林大学), 榎原実香(東京科学大学), 大津友美(東京外国語大学), 萩原まき(桜美林大学), 尾沼玄也(拓殖大学), 香月裕介(神戸学院大学), 鷹野恵(筑紫女子学園大学), 工藤嘉名子(東京外国語大学), 栗原通世(国士館大学), 小森万里(大阪大学), 佐々木良造(静岡大学), 佐藤淳子(北海道大学), 鈴木綾乃(横浜市立大学), 生天目知美(東京海洋大学), 平山允子(日本学生支援機構), 古内綾子(明治大学), 村上智子(京都精華大学)
編集(J-STAGE 担当):寺嶋弘道(立命館アジア太平洋大学)
情報管理:金蘭美(横浜国立大学), 佐藤礼子(東京科学大学), 篠崎大司(別府大学/株式会社篠研), 橋本直幸(福岡女子大学)
企画・広報:河野俊之(横浜国立大学), 僑山雄司(名古屋大学), 中川健司(横浜国立大学), 根津誠(国際交流基金)

日本語教育方法研究会

問い合わせ先:[jlem-ml@jlem-
sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-
sg.org)

(レター編集:世良時子)